

需 要 先	*****管理組合 御中
題 目	*****大規模修繕工事 外壁膜厚測定結果報告書

平成 年 月 日

神 東 塗 料 株 式 会 社
西日本営業部 大阪営業所

***** 外壁膜厚試験結果報告書

拝啓、益々ご清栄の段、お喜び申し上げます
今般、大規模修繕工事における外壁面の断面写真による膜厚の推測を行いましたので下記
にご報告させていただきます。ご査収下さいますようお願い申し上げます。

敬具

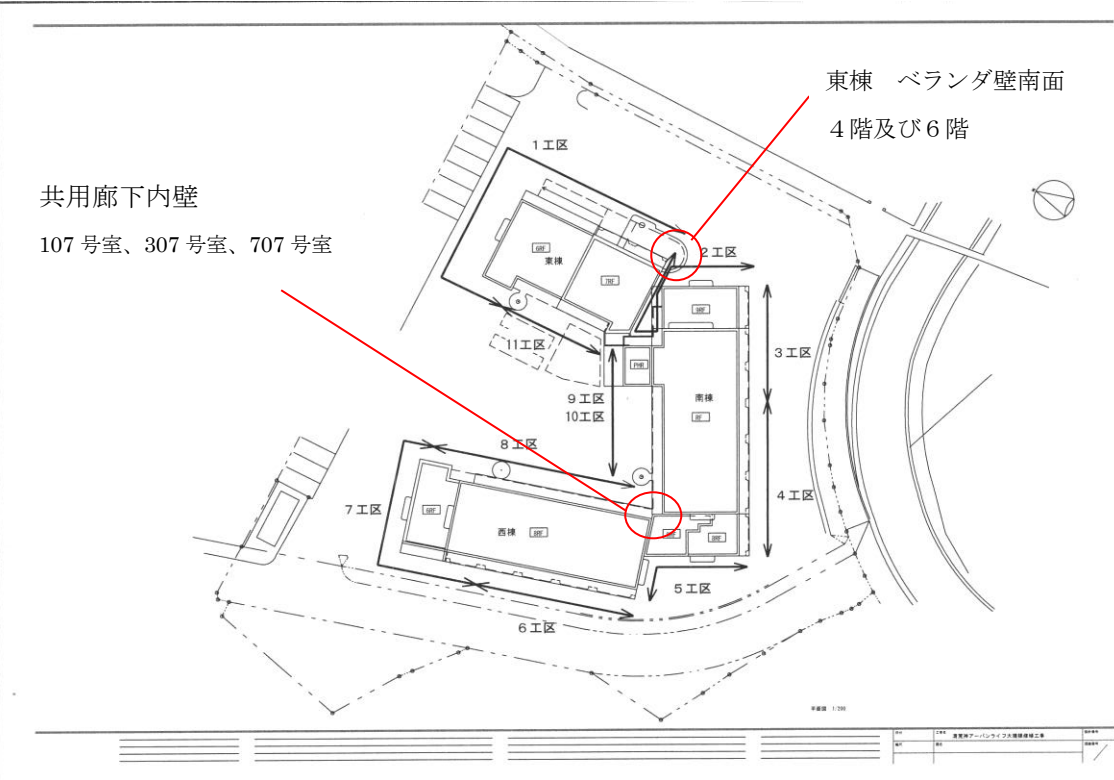
－記－

1. 塗膜片採取日 平成 年 月 日（＊）
 平成 年 月 日（＊）

2. 試験担当者 神東塗料株式会社 ＊ ＊、＊ ＊、＊ ＊

3. 塗装内容
 外壁面
 主材 シントーダンエポ ウールローラー
 （多重架橋形水系エポキシ下地材）
 中塗 ハイテン中塗
 （アクリルシリコン樹脂塗料用中塗）
 上塗 ハイテントップ
 （超耐候性アクリルシリコン樹脂塗料）

5. 膜厚測定箇所



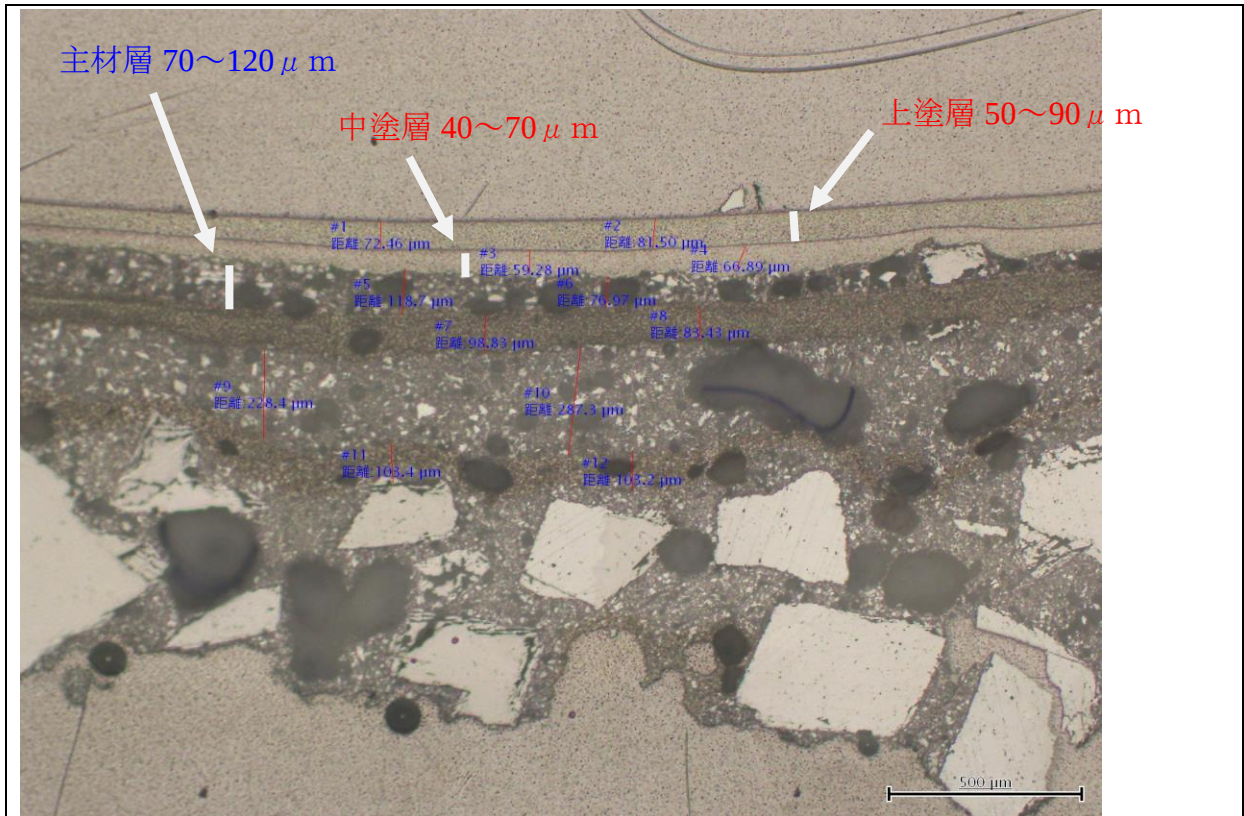
6. 外壁塗膜厚について

現地で切り取った塗膜片で外壁塗装膜厚を測定しました。

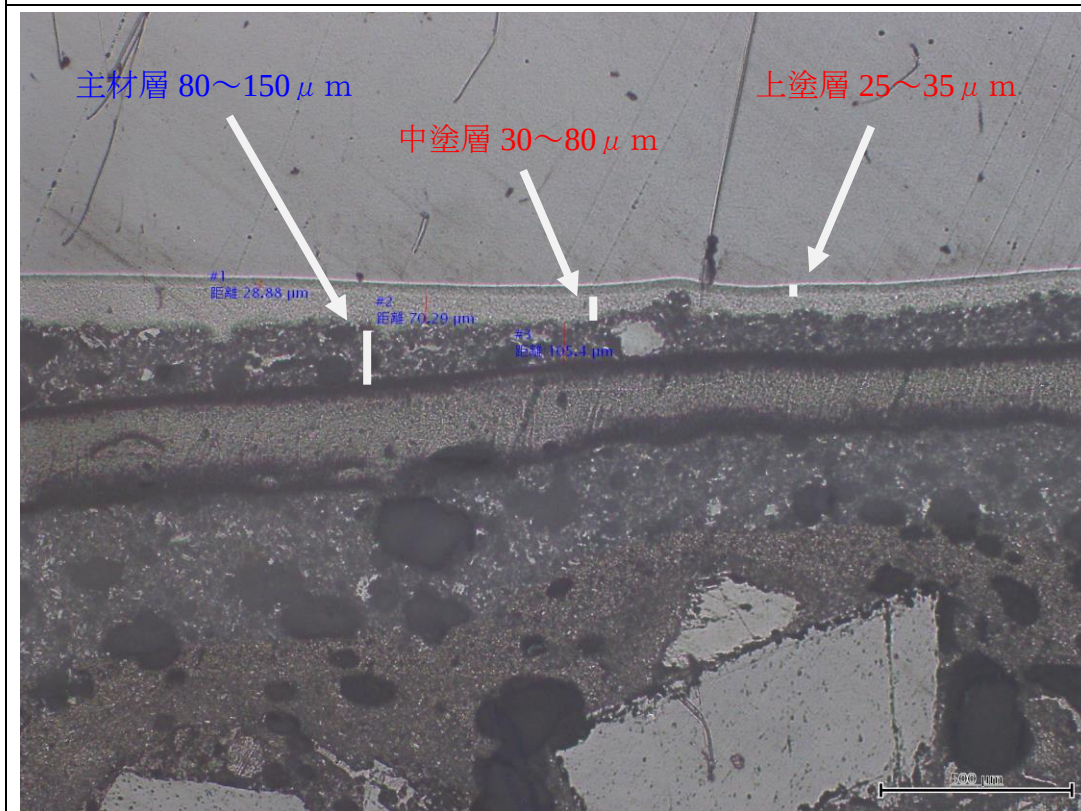
主材・・・シントーダンエポ

中塗・・・ハイテン中塗

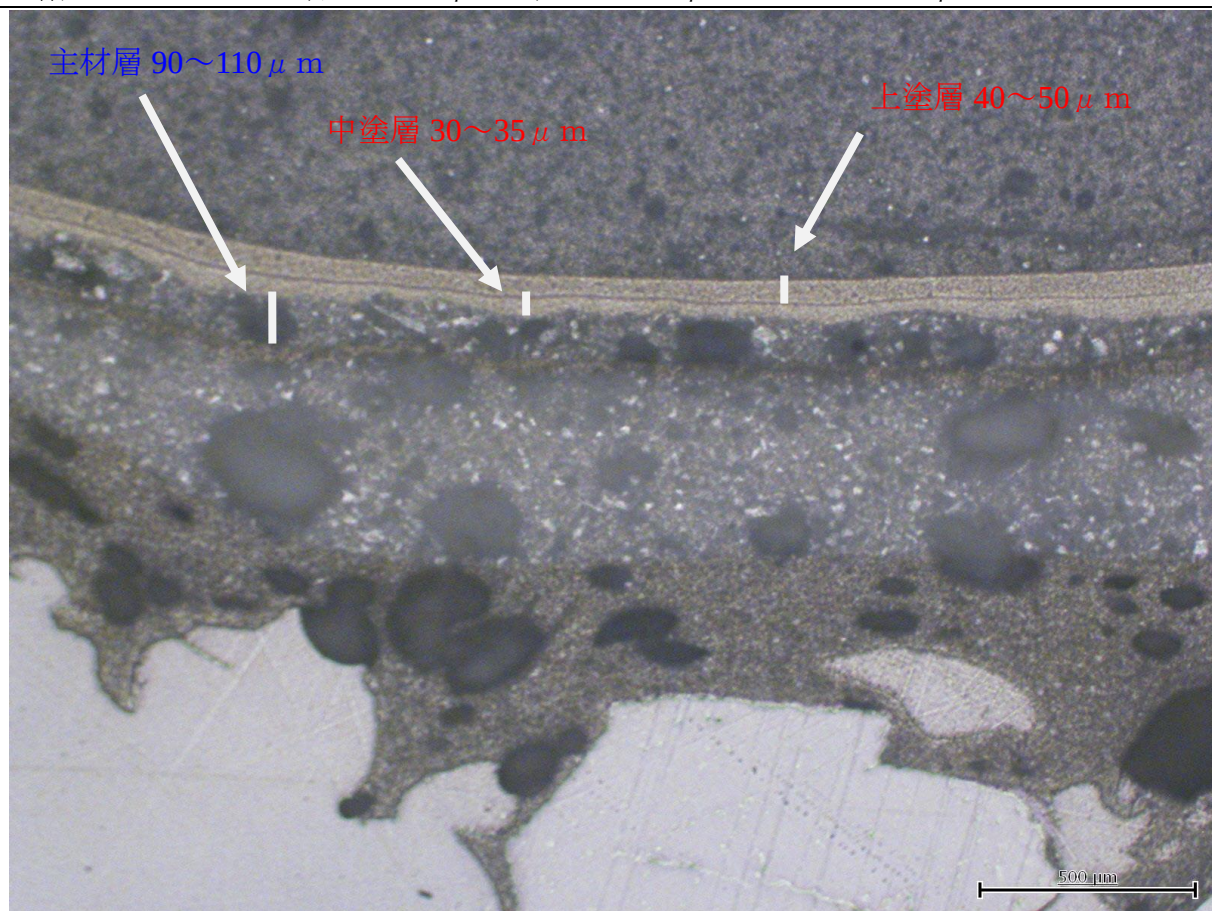
上塗・・・ハイテントップ



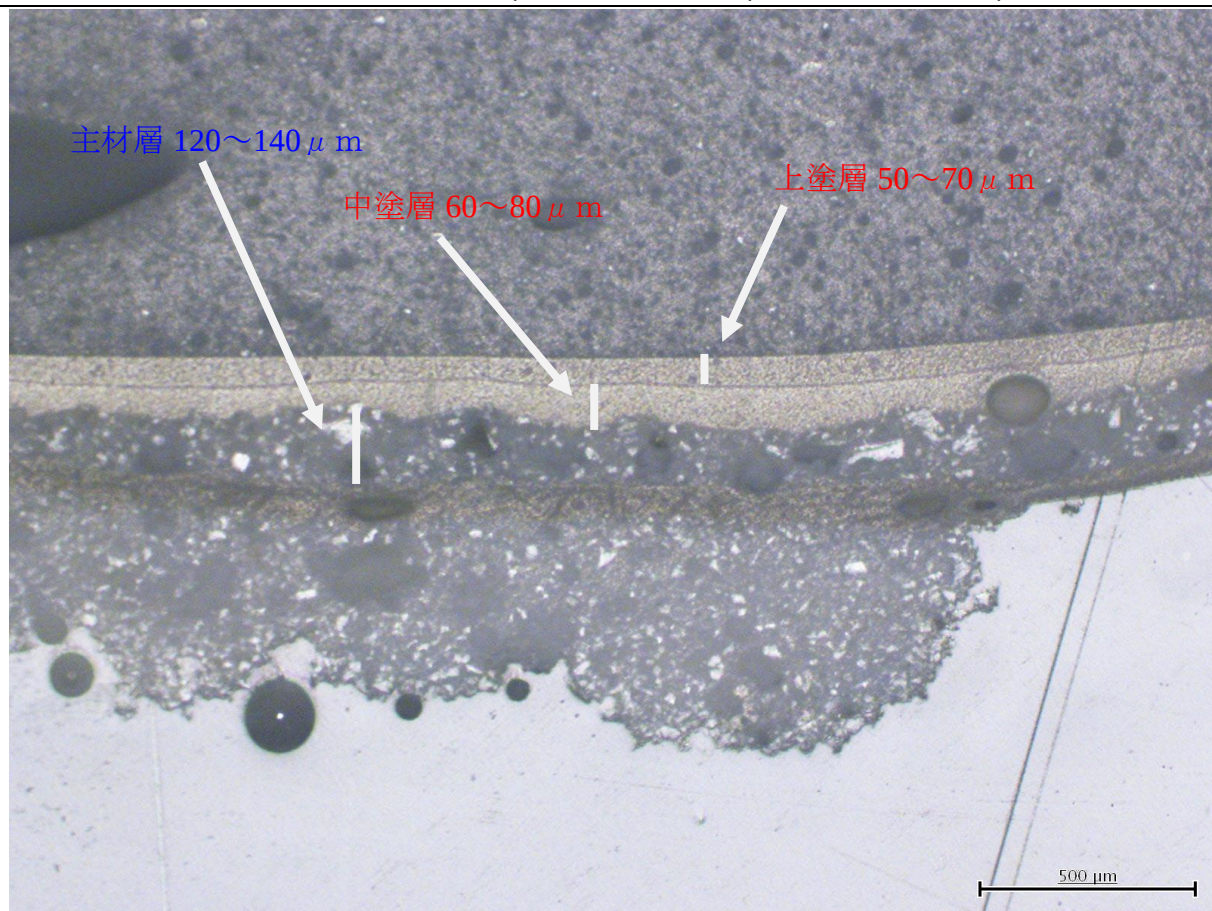
4 階 ベランダ壁 主材:70～120 μm 中塗:40～70 μm 上塗:50～90 μm



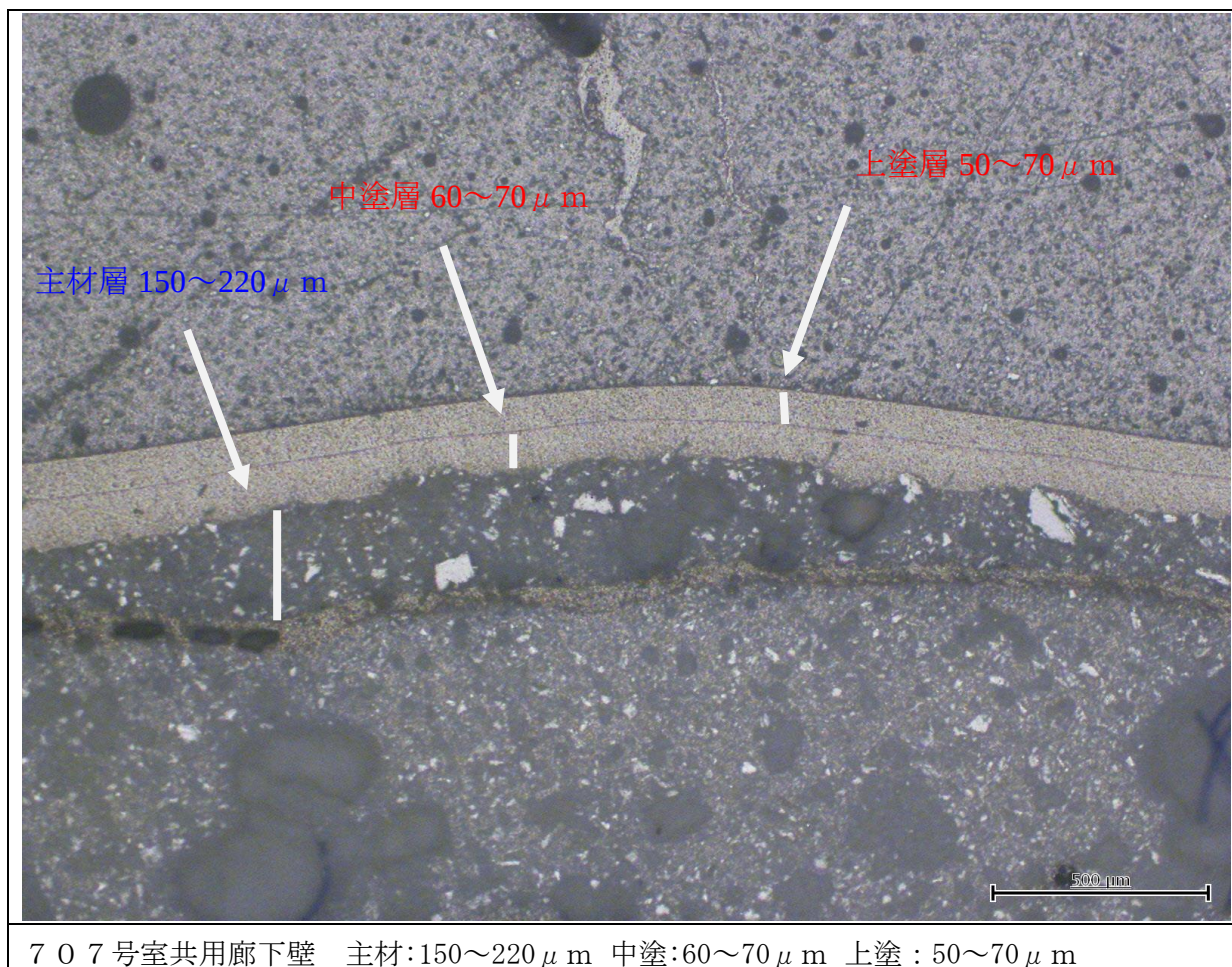
6階 ベランダ壁 主材:80~150 μ m 中塗:30~80 μ m 上塗:25~35 μ m



107号室共用廊下壁 主材:90~110 μ m 中塗:30~35 μ m 上塗:40~50 μ m



307号室共用廊下壁 主材:120~140 μ m 中塗:60~80 μ m 上塗:50~70 μ m



7. 考察

膜厚ですが、下地のパターン及び吸い込みも勘案してのおよその目安として、
シントーダンエポは約90 μm

ハイテン中塗は約30 μm

ハイテントップは約30 μm (1 μm = 0.001 mm)

となります。

2箇所の塗膜片を測定し、

主材のシントーダンエポは、約70~220 μm 、

中塗及び上塗のハイテン中塗、ハイテントップ合計で約55 μm ~170 μm でしたので、
おおよそ標準膜厚を確保していると判断いたします。

以上